

道総研には幅広い専門分野での活躍フィールドがあります。 畜産学・獣医学を専攻されている皆様のご参加をお待ちしています!!

【道総研 農業研究本部試験場】







DNAを利用した道内黒毛和牛の能力診断システム 遺伝子情報から産肉能力などを診断できるシステムを構築しました。これに より、道内の生産者が能力を知りたい牛の毛根などをもとにゲノム育種価 の提供を受けることで、生産者が能力を評価できるようになりました。

北海道立総合研究機構 農業研究本部

畜産試験場 所在地:上川郡新得町字新得西5線39番地1 酪農試験場 所在地:標津郡中標津町旭ヶ丘7番地

【道総研 畜産試験場での取組事例】 こんな取り組みを行っています

雄牛や衝皮雌牛の作出にも活用されています。 値やDNA情報を用いた選抜法について研究しています。研究成果は、適内の優良權 馬毛和種の育種改良を効率的に進めるため、フィールド成績による遺伝的能力評

発に取り組んでいます。 黒毛和種の牛肉を効率的に生産する飼養管理技術(哺育・育成・肥育・繁殖)の開







SNPチップによるDNA型制度

肥育した黒毛和種核肉



馬毛和種の育成

組合せ能力の評価と生産性向上のための飼養管理技術の開発に取り組んでいます。 騙については、当場で開発した高品質肉磨「北海地磨」」の生産システムの開発に 際については、当場で指成した大ヨークシャー系統暦「ハマナスW2」の衝系統との

道内生産者へ供給しています。 羊については、生産を阻害する疾病(スクレイピー)に抵抗性を持つ半群を増殖し









11個開催11

サルティングを行っています。 して、武士場の研究成果に基プへ組たな技術の普及、および農業技術についてのコン 技術普及室では、畜産試験場の技術支援グループが北海道の普及指導員と連携

重面する展題に迅速から的確に対応します。 また、行政・農業改良普及センターや関係機関と連携を図りながら、地域農業が



超音波による肉質総断実習



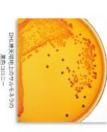




基盤研究部

な畜産物を生産するため、疾病の早期診断法や疾病予防のための衛生管理法の開 発に取り組んでいます。 家畜の生産性に大きく影響する疾病の病態を解明し、信コストで安全かつ高品質

自由病ウイルスの伝播防止対策、豚啄吸器感染症の清浄化などです。 主な研究テーマは、牛と豚のサルモネラ症や子牛の下痢症・呼吸器病の予防法、牛









2

畜産工学グループ

存、雌雄産み分けおよび受胎着床に関する研究を行っています。 家畜の生産効率向上および遺伝的改良を目指し、受精卵移植、受精卵の凍結保

遺伝子増幅法(LAMP法)などを用いた感染症の診断技術の開発を行っています。 また、食の安全を支えるためにBSEプリオン感染実験をはじめとするBSE研究や







BSEプリオン実際感染牛による

BSE影像技術の研究

0 10 20 30 LAMP法の反応曲線 8

LAMP液を用いたヨーネ側の診断

50 8

ウエスタンプロット法による 展案プリオン蛋白質の検出

評価法についての研究や近赤外分析による個料成分の推定精度の向上に取り組んで の選定や栽培方法、かび毒汚染低減技術の開発を行っています。また、租飼料の品質 草地飼料分野では、良質自給飼料生産のために、地域適応性の高い飼料作物品種

る環境負荷物質の低減技術や未利用バイオマスの有効利用技術等を研究しています。 畜産環境分野では、環境と調和した畜産の確立を目指して、家畜ふん尿から発生す



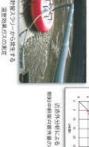
トワモロコシ近隣の関係作業





ウモロコンボかび美の発表 発表させるための漢次返回





こんな取り組みを行っています

研究内容と分担

持続的な酷農経営の発展と地域農業の活性化に向けて (地域技術グループ)

域および牛舎施数の試験研究を行っています。 低コストで省力的かつ乳牛の健康向上を目指した酪農機

・IMRセンター利用酪製体系における良質自能解料生産利用を基本とするスマート中群管理体系の実施 - LMRもソターコガチやキスフージの喧嚣場方度服の存む

最高活力

最後整備に進んいた

研究を行っています。 神機的な際機能能や斯基機能の活在七二関する試験

・影響回標は基本とに向けた人口影響に後奏機後の解説・影響回標を構造の探光・影響回標を集合の技术が、年代中級表に対示す影響が高級層



運営支援 TMR サンター製点と

> 関係に取り組んだいます。 地域とともに開発された新技術の導入や現地における実証

・機生改善技術の機械的な導入による経済効果の現地実施 ・酪農場における経路の健康管理の技術指導

施城が湯



(衛建)

無路を登録をの開催 酪農家を対象にした

> 北海道農政部生産振興局技術普及課 酪農試験場技術普及室 地域の活性化支援に向けて

代と素質に取り組みます。 究師と技術体系化チームを構成して、新技術の総合 #及センターが行う普及活動の支援や酪果試験場所 閻魔試験場や態保機関・四体と連携し、農業役員

福東県教技院女際保護コオル福基リー人の影響で石基数 機能技術語の観察した単校表の単校 機能を関係が対しな一体態の技能

領地帯の関連



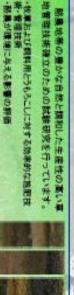
環境と調和した高品質自給飼料の生産に向けて

飼料環境グループ)

こしの栽培・利用法の試験研究や品種選定・選抜を 行っています。 良好な自給飼料基盤を支える牧車と飼料用とうもろ

・探導地における植生改善・維持技術の存派化 ・栄養データ、地理情報を活用した植生物的など情報シスラ 現地選抜を活用した効率的な新品種の背点 **外集局基础技武器**

7



養法婦湯 土場の最出版土版

・酪臭が味噌に与える影響の評価

高品質白粉如

胡椒素素の脳和氏

施技術の 権及と実証

省力・低コスト

への牛の環境に めたって **高級基础** 乳牛の

世の生産

資産経過で

※個は中央30年降価における農業質機構寺院職者(中央20~29年)の中均個

4 H 2 H

4 H 15 H

1188

接雪期間

推算気温 2639 6 2270°C

> 第水量 720mm

> > 日間時間

647等国

展群期間(5月-9月)の合計

安全でおいしい

自給飼料主体で健康的な乳牛の飼養管理に向けて、

乳牛の飼養管理に関する試験研究を行っています。 北海道の繋がな土地資源と自給飼料に立即した

・出荷時生乳の異常風味発生に関する乳中遊離脂肪級 組成および頻繁条件の解明 ・乳量および体帯の向上を目指した初後中の頻繁管理 技術の開発

管理システムの開発 ・公共牧場における総裁判刑争の数枚類数技術の開発・仕事センシンが技術を活用した文章大藝教養を破す

指揮其際の業務市 **田野学神楽部**コサか

(数庫)

乳牛の繁殖管理や生産寿命の指長をめざした健康管理ついての試験研究を行っています

・中国協定の資本ケーン体濃度を活用した頻繁管理 野猫手法の開発 乳中個体間の社会的環位による発情発見アルゴリ 「人の開発 作機器・簡易迅速な中の早期圧緩気治技術の関



の各種政策に担いる場合 18回顧的等(資本・美術や)と舞の姿や非単近に用いる場件 18回新会を日本春頃にています「孝典・李海県、本書東派など)。 ○西藤巻で日本春頃にています「孝典・李海県、本書東派など)。 代中の実験整作物

研究支援

総装書

試験機の連載に関する事務金数を抽出しています。